



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

世界へのプレゼントになろう

「世界へのプレゼントになろう」 *Be a gift to the world*

2015-16年度 RI会長/K.R.“ラビ”ラビンドラン RI/D2590ガバナー/箕田 敏彦 横浜旭RC会長/新川 尚

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F

TEL.045-365-3273

FAX.045-365-3132

Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



2015年7月15日 第2205回例会 VOL. 47 No. 3

■司 会 SAA 二宮麻理子

■開会点鐘 会 長 新川 尚

■齊 唱 手に手つないで

SL 北澤 正浩

■出席報告

会 員 数	32 名	本日の出席数	23 名
本日の出席率	95.83%	修正出席率	96.3%

■本日の欠席者

松本

■他クラブ出席者

新川 (横浜東 RC、地区)

■皆出席者表彰



五十嵐 正会員 22 年

新川 尚会員 12 年

■会長報告

皆様こんにちは。先週木曜日の前会長・幹事慰労会及び歓送迎会、お疲れ様でした。また、

北澤委員長、親睦委員会の皆様有難うございました。

今日はロータリーEクラブについてご案内します。ロータリーEクラブとは、オンラインで例会を開くロータリー・クラブです。6年間の試験期間を経て、2010年6月30日より、ロータリーEクラブは正式に国際ロータリーの加盟クラブとなりました。ロータリーEクラブは、例会をオンラインで開くことを除けば、基本的にほかのロータリー・クラブと変わりません。従来のクラブと同じ指針と手続きに従いながら、奉仕プロジェクトを実施したり、ロータリー財団を支援したり、会員間の親睦を楽しんだりします。

身体的事情、地理的事情、仕事のスケジュールなどの理由で、決まった時間の週例会に行くことができないという事業・専門職・地域のリーダーにとって、Eクラブは、ロータリー・クラブ入会の可能性をもたらす選択肢となります。各ロータリーEクラブは一つの地区に割り当てられますが、会員は、ロータリーが存在する国や地域ならどこに住んでいても構いません。

2015年6月現在、日本語で参加出来るEクラブは全部で10クラブあります。それぞれ費用や例会出席の基準が異なりますので、ウェブサイトをよくご確認ください。URLは週報

及び、クラブホームページに掲載します。

* 7 ページに掲載

○地区関係

1) 地区拡大増強セミナー

日時 7月14日 15:00～

場所 メモワールプラザソシア 21

松本委員長は急用のため私が出席してきました。出席者は箕田ガバナー、大野担当パストガバナー、金杉第2ゾーンロータリーコーディネーター、地区拡大増強委員会、各クラブ会長、拡大増強委員長で、箕田ガバナーからは、未充填の分野を見直し、分野を広げるようお話がありました。その後、自クラブの問題点の洗い出しに有効なブレインストーミングという手法の紹介と実践がありました。グループごとに討議が行われ、その発表を聞くと皆同じ問題を抱えており、解決策も従来のものからあまり変化が無いように感じました。やはり、会員増強は地道にやっていくしか無さそうです。

2) 地区より「RI 意義ある業績賞」が届きました。これは、昨年度のチャリティーコンサートに対して授与されたものです。チャリティーコンサートがお墨付きを頂いたようで大変うれしく思います。



■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ

○横浜緑ロータリークラブ

日時 7月29日(水)夜間移動例会

点鐘 18:30

場所 ホテル横浜ガーデン

横浜市中区山下町 254

TEL 045-641-1311

日時 8月12日(水)休会

■旭ジャズまつりのお知らせ

北澤 正浩

7月26日(日)に開催されます旭ジャズまつりのチケット販売中!ぜひこの機会に購入して頂き、当日はジャズを聴きながら、飲んで盛り上がりましょう!



■雑誌委員会

滝澤 亮

○ロータリー友誌を読んで

ロータリーの友横開きの表紙は、本年度 RI 会長 K. R. ラビドランゴ夫妻の写真です。横開き 7 ページから 19 ページにかけて 2015-16 年テーマ『世界へのプレゼントになろう』の内容と、ラビドランゴ会長の紹介が乗っている。スリランカ・コロombo・ロータリークラブに所属するラビドランゴ RI 会長については、本文をお読みください。またこの美しいスリランカの景色などの写真を目に触れるだけでもいいのではないのでしょうか。

次に 20・21 ページには 2015-16 年 RI 理事会メンバー照会が出ております。

続きまして、22～39 ページには、第 2500～第 2740 地区までの日本の全ガバナーの紹介が出ております。30 ページにはわが第 2590 地区ガバナーの箕田敏彦氏の紹介をパストガバナー清水良夫氏がしております。

46・47 ページには、申請者募集が出ており

ます。国際ロータリーでは、2016-17年度のコミュニケーション委員会・定款細則委員会・地区編成委員会・選挙審査委員会・財務委員会・国際大会委員会・選挙審査委員会・ローターアクト・インターアクト委員会・戦略計画委員会の各委員御募集がなされております。2015年8月30日までです。ご興味のおありになる方はお申し込みください。

ロータリーの友縦開きの裏側の表紙は、世界へのプレゼントになろうのロゴマークが表紙です。縦開きの4～8ページは、崎山勝彦氏の「南の島の何もなくて豊かな暮らし」でフィリピン、カオハガン島という島を買った人のお話です。23年前には、現金が使われていなかった南の島で、セブ島のお気にある東京ドームくらいの島で人口330人という島だそうです。主食のトウモロコシは取れないため、海で小魚や貝を採って食べ、食べられる草を摘んで食べている生活で、トウモロコシは1時間ほどかけてボホール島の交換市で週に1度貝や魚と交換していました。当時島に小学校はありましたが2年までしかなく3年になると隣のハンガナン島に歩いて行っていたそうです。それを文部省と交渉をして6年生の小学校を作ってもらい自分たちで校舎を建てました。そして優秀でやる気のあるものを選んでハイスクール・大学と送ることをしているそうです。少しずつ良くなってきた島民の暮らしとしては、医療は現金がないため何もなかったものがヘルスセンターができたそうです。また宿泊の施設も何もなかった状態から、宿泊施設も造り日本からのツアーまで受け入れられるようになり、日本からの学生も来るようになりいろいろと学んで帰って帰るようになり。その学生が日本に帰ってもみんながつながりあっているいろいろなことを始めてくれているそうです。

9ページからは、わがまちそしてロータリー富山県富山市、北前船の湊・岩瀬 廻船問屋の街並みを再生という記事が12ページ迄載っております。写真とともに読んでいただけたらと思います。

最後に20～21ページの柳壇に吉原会員の作品が掲載されております。毎月のように作

品をお見かけいたします。皆様も機会を見て投稿されることをお勧めいたします。

■ニコニコBOX(会員敬称略)

新川 尚／①皆出席祝いありがとうございます。②佐藤利明会員、卓話宜しく願います。

市川 慎二／佐藤利明さんの卓話、楽しみにしています。

北澤 正浩／①佐藤利明さん、卓話楽しみにしております。②旭ジャズまつりにぜひ皆様ご来場ください。

安藤 公一／①佐藤利明さん、卓話宜しく願います。②父、達雄は昨日菊名記念病院にて、心臓弁膜症の手術を終え、現在療養中です。おそらく1週間前後で一般病棟に移るものと思われま。

吉原 則光／佐藤さんの卓話楽しみです。おもしろい話をたくさん聞かせてください。期待しております。

太田 勝典／佐藤さん、卓話楽しみです。

後藤 英則／佐藤利明会員、卓話楽しみです。

齊藤 善孝／佐藤利明会員、本日の卓話楽しみです。

田川 富男／佐藤さん、今期は一般卓話が多い中で、最初の卓話をお願いします。テーマは二宮金次郎さんですか。

鈴木 茂之／みなさん、こんにちは。佐藤利明会員本日の卓話楽しみにしております。よろしく願います。

杉山 雅彦／①暑い日が続きます。水分を十分とって、夏を乗り切りましょう。②佐藤利明会員、卓話楽しみにしています。

二宮麻理子／佐藤利明さん、本日の卓話楽しみにしています。

漆原恵利子／先日の慰労会・歓送迎会ではお世話になりました。有難うございました。

佐藤 真吾／妻の誕生日にお花を頂き、有難うございます。

青木 邦弘／①佐藤さん、13日の月曜日はご苦労様でした。今日は卓話楽しみです。②旭区の消防団の大会で我が第4分団6班が優勝しました。

五十嵐 正／①皆出席、22年の祝いを頂きました。健康と家族、そして皆様に感謝です。②佐藤利明さんの卓話、楽しみです。



歴史は教育の中で最も重要なものであると思います。なぜかと言うと、歴史を勉強して、過去から何を学び、今を生きる私たちは、何をなすべきなのかを考え、そして不変のものとして、何を未来に伝えるのかを考えることができると思います。

今日の卓話は、「郷土の偉人、二宮尊徳」について、話してみたい。

どの地域にも、歴史の中でその土地を切り拓いた人々があり、汗を流して、文化や伝統を作り上げてきた諸先輩がいる。その足跡を辿り、事績について勉強してみますと、いろんな発見があります。神奈川県には、そうした偉大な人が多勢います。その一人に二宮尊徳がいます。

今なぜ二宮尊徳を取り上げるのか、それは過日、前神奈川県知事松沢成文氏の講演を聞く機会がありまして、その講話「郷土の偉人尊徳に学ぶ」に非常に感銘を受け、著作をひもとき、再度読み返し、心にのこり、ロータリー精神に相通じるものを感じたからであります。

戦後を生きる現代の人は二宮尊徳の真の姿を知らないと思います。75歳以上の年配の人達は、昔教わった「柴刈り縄ない」のイメージで、記憶にあると思いますが。戦前は殆どの小学校には、二宮尊徳（金次郎）の背に柴を背負い読書している銅像があったようです。唱歌にも親兄弟を助けるやさしくて我慢強く勤勉な少年として「修身・道徳」の鏡として歌われておりました。成人した尊徳は江戸時代末期に、農村復興や行財政再建を実践し大活躍した類まれな改革者であったようです。

二宮金次郎は、1787年、相模国・栢山村、

現在の小田原市栢山に生まれております。

父は二宮利右衛門、母はよし、です。三人兄弟の長男で次男に友吉、三男に富次郎がおりました。金次郎14歳の時、父利右衛門が死亡、16歳の時、母よし死亡し、貧乏のどん底で一家は離散、伯父万兵衛方に身を寄せることとなります。

伯父の家といえば聞こえはいいですが、実態は作男で、あったようです。いや、作男より悪い。作男ならわずかではあっても賃金がでますが、金次郎の場合は無給でありました。懸命に伯父の家の田畑を耕し、山に行っては柴を刈り、薪を取り、夜には縄を緋い、箆や草履をつくる。山仕事の時は書物を歩き読みし、夜なべをするときは書物をわきに置きながら、そして夜なべを終えた後も読書に勤しんだ。

18歳の時に伯父万兵衛の家を出て、栢山村の豪農阿部家に奉公し、実家の再興に知恵、を働かせ、寝る間も惜しみ、努力に努力を重ねて、田畑を買い戻し、二宮家を再興するまでにしました。次いで小田原に出て武家奉公人になります。その一つが服部家への奉公でありました。25歳の時でありました。

服部家には3人の息子がおり、いずれも学問に熱心でありました。3人の子供付の若党となり、藩校へお供をするようになり、講師の講義をもれ聴くことが出来、予習復習する際も、拝聴出来、学問好きの金次郎には歓迎すべき環境でありました。

服部家に移ってから全十巻の「経典余師」を購入します。「経典余師」とは四書（大学・中庸・論語・孟子）の解説書であり、藩校での勉学に欠かせない書物であります。また学問好きだった父の利右衛門が手ほどきしたのだろうが、金次郎は幼い頃から学問に興味を持ち、書物に親しんでいたようです。父の死後、父の集めた書籍の多くは生活の資にするために手放してしまったが、「論語」や「大学」などは大事に手元に残しており、それらを読みふけていたようです。服部家での武家奉公は、思いもよらない方向に、展開していくこととなります。

小田原藩の服部家・服部十郎兵衛は家老を

勤めた家柄であったが家計は借財も多く困難に陥っていました。おもわぬことから、金次郎が貧困の生家を立て直した経緯を買われ、服部家再興を任されることとなります。服部家の財政再建は困難を極めました。何とか要望にこたえることが出来、このころから尊徳と名乗ります。そして、世の為、人の為、出来るかぎりを尽くす、という推譲の精神「報徳仕法」にいきつくこととなります。

「報徳仕法」には、(至誠・勤労・分度・推譲・積小為大・一円融合)の六つのキーワードがあります。

「至誠」とは、真心を尽くすこと。

「勤労」とは、物事を観察し認識し、それをもとに知恵を磨きつつ働くことでもあります。

「分度」とは、自分の置かれた状況や立場を弁え、それに相応しい生活をおくることでもあります。尊徳の報徳仕法においては、この分度をたてることを最も重要視します。分度を立てるとは、どの程度の生活をするか、それを決めることでもあります。

「推譲」とは、分度を守り、勤勉に働き、その結果として生じた果実を積み重ねていけば、やがて大きな余剰や余分が生じる。その余剰を家族や子孫のために蓄えたり、他人や社会のために譲ったりすることによって、人間らしい幸福な社会が誕生するという教えであります。これ即ち社会奉仕であります。

「積小為大」とは、小さな努力・小さな蓄積の累積がやがては、大きな収穫や発展に結びつくことでもあります。逆に言えば、小事を大切に努力・継続しなければ、決して大事を成し遂げることはできないという教えであります。

「一円融合」とは報徳仕法の到達点ともいえます。つまり、すべてのものは、互いに働き合い、一体となって結果をもたらすという世界観であり、たとえば、一粒の種は水・温度・土・日光・養分など様々なものが一つに融けあって、はじめて花を咲かせ実を結ぶ。人間の社会も同じで、一円融合があるから幸福な社会が誕生すると説いております。これらの六つの原理はすべて、分かちがたく結びついているものであります。「至誠」は根本的な心構

えを説き「一円融合」は尊徳の世界観を説いています。したがって報徳仕法の実践面(復興・改革)は勤労・分度・積小為大そして推譲から成っていると考えられる訳です。

また、尊徳の経済上の手腕と信頼性は絶大で、尊徳28歳の頃には、服部家家中の中間若党、下男下女は勿論、士分の者までも含む人達で「五常講」という組織をたちあげました。積立・貸借・節約・無駄をなくし身近な工夫をこらし、連帯して生活を向上するよう、尊徳が指導した相互扶助金融制度であります。

五常とは、「仁」「義」「礼」「智」「信」という儒教が重んじる五つの徳目を意味します。

金に余裕のある人が、この「講」に貸出し基金を寄せる、これが「仁」であります。この「講」から借りる人は約束を守って確実に返済する。これが「義」であります。借りた人は貸してくれた人に感謝する。これが「礼」であります。借りた人は確実に一日でも早く返済できるよう努力工夫する。これが「智」であります。

金の貸し借りには相互の信頼関係が欠かせない、これが「信」であります。これら五つの徳目を守る人たちだけによって構成される「講」が「五常講貸金」という相互扶助の金融制度にほかならないわけです。「五常講」はのちに尊徳思想を実践するために設置される「報徳社」の礎となっていきます。ここで注目したいのは、五常講は今日の信用組合や協同組合と大変似た内容ということでもあります。

29歳の時、服部家から帰りますが、その後、小田原藩に登用されることとなります。藩主は大久保忠真(ただぎね)であります。1818年大久保忠真・老中となるも、小田原藩も財政に困窮しており、藩の財政を担うことの人材を求めていましたが、家臣のなかにそうした人材は見当たらず、何とかしなければならぬと思いをめぐらせていたおり、二宮家・服部家の財政復興をなした二宮尊徳なる逸材が野にいたことが耳に入り、藩政を任せたいと考えます。現在の政治に置き換えれば、民間からの大臣起用であります。忠真が家臣に相談したところ猛反対をうけます。百姓風情にお家の財政を任せるなどあっていいことは

ないと云うことであります。

しかし、忠真は諦めず、時を経て使者を使わせるも尊徳に固辞されてしまいます。農民である自分では不可能であり、分不相応であると。その後3年がかりで望まれ続けて承諾します。

尊徳はこれを「天命」だと思い、生命を賭けて成し遂げようと決心したようです。36歳の時です。忠真は反対する家臣の手前を考えて、誰も反対できないだけの実績を尊徳に積ませよう、実績を積ませた後に藩政を任せようと考えていました。そして忠真は尊徳に小田原藩・大久保家の分家である旗本・宇津木家の所領である下野（今の栃木県）の「桜町領の復興改革」を命じます。宇津木家は小田原藩三代目の藩主忠朝が三男教信に継がせていたところであり、こうして「桜町領の改革」に全責任を負うことになり、本格的に活躍が始動します。このとき士分に取り立てられております。百姓から武士への出世であります。

桜町領の改革において最も重要視したのは、自立と言うことであるように思われます。ここで言う自立とは百姓（農村）が自分たちの手で村を復興させなければならないと自覚し、自発的に取り組むことであります。尊徳ほどの知恵者ならば改革のため最も的確な青写真を描き、後は文句を言わず、そのとおりにやらせれば効率が良いように見えますが、これは頭の鋭い指導者が陥りがちな罠であることを尊徳は承知していたのであります。

所謂、頭の良い指導者が悉く失敗したのは「黙ってこれを実行しろ、俺についてこいと言う」上からの命令調であったためであります。これでは山（人）は動かない。山を動かすのは、多勢の人の参加が不可欠になる。多勢の人がそれぞれ自発的に知恵を働かせ工夫するから、それらの人々の中に自立的な意志意欲が生まれて、はじめて改革は推進するのである。

確かに洋の東西を見ても独裁者や独裁権力の行った「俺についてこい主義」の改革運動は最初はテンポよく見えますが、最終的には必ず失敗しています。徳川吉宗、松平定信、ヒトラー、スターリン然りであります。

10年間の復興期間に「表彰制度」でヤル気を引き出したり「芋こじ」で村落共同体の構築（現代のタウンミーティング）を図ったり「低金利融資制度」で自立を促したり、目端的利いた若者に「米相場」を張らせたりしました。

そんななか「木の根堀りの老人」の逸話は有名であります。順調に改革は進んで約束を全うした折り、再度請われて、第二次復興期間として5年間の請け負うこととなります。この期間に天保の飢饉に遭遇します。本来なら大被害を受け、場合によっては餓死者も多かったかもしれないが、被害は少なかった。しかし「予期せぬ反発」がございました。一部の農民たちとの感情のもつれ、小田原藩の反対勢力として最悪の人物・豊田正作の赴任、感情的なシヨリ収まる気配が見えず、ついに桜町領を誰にも言わずに去ってしまいます。失意の中で、懐かしい栢山村に帰り、次いで箱根や伊豆の温泉に遊びます。だが尊徳の心は癒されず、最終的には成田山へ参籠する道をえらびます。「成田山での断食修養」21日間の最も厳しい修養に挑戦し「一円観」と言う悟りをつかみます。

一円観は尊徳仕法の六つの原理の一つであり、尊徳が到達した哲学とも言える「一円融合」の源となった仏教的な世界観であります。簡単に言えば、善と悪・苦と楽など世の中のありとあらゆる対立するものを、実は対立的とは見ないと言うことです。一つの円の中の相対的な構成要素であり、善と悪は対立・闘争するのではなく、溶け合い、調和し合ってこの世界を形づくっていると考える。この世に絶対の善人もいなければ、絶対の悪人もいないということでもあります。それなら、接し方次第では、いかなる人の心も動かせるはずである。こうした悟りを成田山で得て、そして桜町領に戻り農民・役人たちと話し合い、誤解を解き合い協力し合って、復興を成し遂げます。その頃の自分の心境を詠んだのが、次の句であります。

見渡せば、敵も味方もなかりけり、

おのれ、おのれが心にぞある

大飢饉に際しユニークな手法で多くの人々を救い、荒廃した農村をたてなおし、藩の財

政まで再建させている二宮尊徳の名は、ほどなくして「天保の改革」に取り組む徳川幕府のなかにまで轟くようになり取り立てられ、二宮塾をひらきます。こうして尊徳は、幕府領を含む全国の村や町の復興と財政が逼迫した藩の行政改革や財政再建のために活動しました。

その数、全国 600 ヶ村を超えるといわれております。その中には、富田高慶をはじめ二宮塾の高弟が指導したのものもあるでしょうが、それにしても、驚異的な数であります。

尊徳は 31 歳で中島きのと結婚、33 歳の時長

男徳太郎が生まれましたが、間もなく死亡し、妻きのと離別しました。34 歳の時、岡田なみと結婚し翌年嫡男、弥太郎誕生、38 歳の時長女ふみ誕生。1856 年（安政 3 年）10 月 20 日、70 歳で没しました。

以上本日の卓話は、松沢成文前神奈川県知事の講話と著書「二宮尊徳の破天荒力」を参考に引用したものであります。

■次週の卓話

7/29(水) 一般卓話 秋内 繁会員
「保険金よもやま話」

週報担当 杉山雅彦

Eクラブについて

ロータリーEクラブとは、オンラインで例会を開くロータリー・クラブです。6年間の試験期間を経て、2010年6月30日より、ロータリーEクラブは正式に国際ロータリーの加盟クラブとなりました。

ロータリーEクラブは、例会をオンラインで開くことを除けば、基本的にほかのロータリー・クラブと変わりません。従来のクラブと同じ指針と手続きに従いながら、奉仕プロジェクトを実施したり、ロータリー財団を支援したり、会員間の親睦を楽しんだりします。

身体的事情、地理的事情、仕事のスケジュールなどの理由で、決まった時間の週例会に行くことができないという事業・専門職・地域のリーダーにとって、Eクラブは、ロータリー・クラブ入会の可能性をもたらす選択肢となります。

各ロータリーEクラブは一つの地区に割り当てられますが、会員は、ロータリーが存在する国や地域ならどこに住んでいても構いません。

2015年6月現在、日本語で参加出来るEクラブは全部で10クラブあります。それぞれ費用や例会出席の基準が異なりますので、ウェブサイトをよくご確認ください。

日本ロータリーEクラブ 2650
<http://rotaryclub2650japan.org>
1,000円

2730 ジャパンカレント
ロータリーEクラブ
<http://www.jce2730.org/>
1,000円

愛知ロータリーEクラブ
<http://www.aichi-eclub.jp/>
500円

福山ロータリーEクラブ 2710
<http://rotaryclub2710japan.org/>
1,000円

東京米山ロータリーEクラブ 2750
<http://www.yoneyama-eclub.org/>
1,000円

北海道 2500 ロータリーEクラブ
<http://hokkaido2500rotaryclub.org/>
500円

HYOGO ロータリーEクラブ
<http://hyogo-e.ri2680.org/>
1,000円

かながわ 2780 ロータリーEクラブ
<http://www.kanagawa-e-club2780.rotary.bz/>
500円

ワールド大阪ロータリーEクラブ
http://senshu-kumatori-eclub.jp/club_profile.html
500円

Rotary E-Club Sunrise of Japan
(ロータリーイークラブ サンライズ
オブ ジャパン)
<http://www.e-club-sunrise2014.jp/>
1,000円

平成27年度6月出席率一覧表

員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率
1	秋 内 繁	100	0	100	21	太 田 幸 治	－出席規定免除－		
2	安 藤 公 一	100	0	100	22	斎 藤 善 孝	50	25	75
3	安 藤 達 雄	－出席規定免除－			23	桜 田 裕 子	50	0	50
4	青 木 邦 弘	100	0	100	24	佐 藤 真 吾	75	25	100
5	福 村 正	100	0	100	25	佐 藤 利 明	100	0	100
6	後 藤 英 則	75	25	100	26	関 口 友 宏	100	0	100
7	兵 藤 哲 夫	－出席規定免除－			27	杉 山 雅 彦	100	0	100
8	市 川 慎 二	100	0	100	28	鈴 木 茂 之	100	0	100
9	五十嵐 正	100	0	100	29	田 川 富 男	75	25	100
10	川 瀬 恵津子	－出席規定免除－			30	滝 澤 亮	100	0	100
11	北 澤 正 浩	100	0	100	31	内 田 敏	－出席規定免除－		
12	今 野 丁 三	－出席規定免除－			32	漆 原 恵利子	100	0	100
13	倉 本 宏 昭	－出席規定免除－			33	矢 田 昭 一	－出席規定免除－		
14	増 田 嘉一郎	100	25	125	34	吉 野 寧 訓	－出席規定免除－		
15	松 本 英 二	25	50	75	35	吉 原 則 光	－出席規定免除－		
16	新 川 尚	100	50	150	36				
17	二 宮 麻理子	100	0	100	37				
18	二 宮 登	100	0	100	38	高 梨 昌 芳	名 誉 会 員		
19	岡 田 清 七	－出席規定免除－			39				
20	太 田 勝 典	－出席規定免除－			40				
例 会 日		3日	10日	17日	24日				平均
例会出席率	$\frac{27}{30}$	90.0%	$\frac{24}{27}$	88.89%	$\frac{25}{29}$	86.21%	$\frac{23}{25}$	92%	
修正出席率	$\frac{27}{30}$	90.0%	$\frac{27}{27}$	100%	$\frac{27}{29}$	93.10%	$\frac{23}{25}$	92%	93.78%